

● 2012年（平成24年）7～9月

1 社会・治安情勢

9月24日、主にヨルダン北部のシリア難民を受け入れているザータリ・キャンプ内において、約1,000人のシリア難民が生活環境に抗議するためデモを行ったほか、チャリティー組織事務所を壊し、テントに火をつけ、野戦病院を襲った。警察は催涙ガスを使用してデモを拡散させた。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 8月1日未明、ヨルダン警察庁、ヨルダン軍、国家憲兵隊から構成された合同治安部隊が、武装グループを急襲し、激しい銃撃戦の末、アンマン北部のカマリヤー地区において11名、東部のジャバル・アル・ナスイル地区において2名の計13名を逮捕し、大量の武器を押収した。

また、26日、治安部隊は急襲時に逃走したメンバー2名を発見し、銃撃戦の末、射殺した。

当初、警察はこのグループをテロリストグループと呼んでいたが、捜査の結果、悪質なギャングであると断定した。

(2) 邦人被害未遂事案

ア アンマン市内において、電力料金徴収員を装った男が、邦人が居住するマンションを訪れ、「電気料金の支払いが遅れている。徴収に来た。」と申し立てた。邦人が「料金を支払ったら、領収書を発行してくれるのか。」、マンションの門番人が「身分証明を見せろ。」と言ったところ、男は「領収書は忘れた。」と答え、逃走した。

イ 8月6日、アンマン市内のアパートの1階（地上階）において、在留邦人が寝ている間に寝室の隣の部屋に置いてあった鞆の中から現金を盗まれた。ベランダのシャッターを閉めておらず、ベランダに面しているドアのフックがきちんとかかっていなかった模様とのこと。

ウ 9月17日、アンマン市内シュメサーニのアパート（日本式で2階）において、在留邦人が朝外出し、夜11時頃に帰宅するまでの間に現金、パソコン、カメラなどを盗まれた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

8月20日、治安当局は、ヨルダンにおいて破壊活動を行う目的で入国したシリア人1名を逮捕し、さらに主にヨルダン北部のシリア難民を受け入れているザータリ・キャンプ内にいた25名を逮捕した。捜査の結果、逮捕されたシリア人はヨルダン国内において破壊工作を行うためにシリア当局により組織さ

れ、その事実を隠して入国し、テロを実行しようとしていたとのことである。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

(了)